

第七十四回帝國議會
衆議院
酪農業調整法案委員會會議錄(速記)第三回

付託議案
酪農業調整法案(政府提出)

會議

昭和十四年三月四日(土曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長代理 理事池田 清秋君

理事鹽川 正藏君 理事深澤 吉平君

理事藤生安太郎君

篠原 陸朗君 河野 一郎君

小笠原八十美君 松尾 孝之君

北 勝太郎君 小田 榮君

野溝 勝君

出席政府委員左ノ如シ

農林參事官 林 讓治君

農林省畜産局長 岸 良一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

酪農業調整法案(政府提出)

○池田委員長代理 是ヨリ會議ヲ開キマス——河野君

○河野委員 先ツ總括的ニ質問ヲ致シタイト思ヒマス、吾々ノヤウナ餘リ法律知識ノアリマセヌ者ニハ、此ノ法案ガ能ク分ラヌ點モアリマスノデ、順次内容ニ立到ツテ少シ詳細ニ伺ツテ見タイト思ヒマス、大體此ノ酪農業調整法ノ全體ヲ通ジテ考ヘマス時ニ、

生産者、即チ農家ノ方面ニ對スル考ヘ方ガ非常ニ不親切ト申シマスカ、薄弱ト申シマスカ、不用意ト申シマスカ、不準備ト申シマスカ、餘リニ製造業者ノ側ニノミ囚ハレマシテ、立法セラレタ嫌ヒガアルヤウニ拜見スルノデアリマス、元々本法立案ノ趣旨ガ、製酪品ノ輸出促進ヲ目的トシテ立案セラレタノデハナイカト云フ懸念モアルノデアリマスカ、ソレ等ニ付テ先ヅ當局ヨリ御説明ヲ一應承ツテ置キマス

○岸政府委員 河野サンノ御質問ニ御答致シマス、此ノ法案ガ農家ノ方面ニ對シテ不用意デアツテ、牛乳ノ生産者ノ方ニ留意スルヨリモ、寧ろ製造業者ノ方ニ注意ヲシテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ御質問デアツタノデアリマスガ、此ノ法案ハ本會議ニ於テ大臣ヨリ御説明モアリマシタ如クニ、從來酪農業ニアリマシタ生産部面ト加工部面トノ、徒ラナル摩擦ヲ去ツテ各、公正ナル位置ニ居ツテ仕事ヲヤツテ行クト云フ考ヲ目標ニシテ居ルノデアリマスカラ、生産者ヲ保護スルト云フ點ニ付テハ、十分留意シテアルノデアリマス、例ヘテ見レバ從來放任セラレマシタ特約ノ取引ヲ許可制ニ致シマシテ、其ノ決定ニ當リマシテハ、地方ニ設置セラレル酪農協議會ニ於テ、業者ノ側並ニ第三者ノ關係者ヲ入レマシテ、十分其ノ内容ニ付テ審議ヲシテ、サウシテ各、ノ立場ヲ認メルヤウナコトヲヤツテ行クノデアリマスノデ、此ノ點從來ヨリモ十分生産者側ノ立場ガ保護サレ、サウシテ經營ガ安定ニナツテ行クト考ヘルノデアリマス、固ヨリ此ノ中ニ製酪業組合ヲ作ルト云フヤウナコトハ、一面ニ於キマシテ現在ノ時局ニ際シテ、乳製品ノ輸出ヲ堅實ニヤツテ行クト云フコトヲ企圖シテ居ルコトハ勿論デアリマスルガ、只今申上ゲマシタヤウニ、此ノ全體ノ關係ニ於キマシテハ、生産者ノ立場ヲ十分ニ考慮シ、從來ヨリモ強化シテ行クト云フ考デアツテ居ル次第デアリマス

○河野委員 質問ノ順序ガ少シ轉倒シマス、此ノ機會ニ念ノ爲ニ伺ツテ置キマス、今ノ酪農協議會ノ構成、竝ニソレニ關スル當局ノ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○岸政府委員 酪農協議會ハ、豫算ノ方ニ畜産物ノ統制ニ關スル費用トシテ載ツテ居リマスガ、是ハ乳ト卵ノ販賣ニ關スル統制デアリマス、乳ニ付キマシテハ協議會ノ外、

各地方ニ技術員ヲ設置シテ、講習會ヲ開クト云フヤウナ費用モ含ミマス、酪農協議會ハ中央ニ一ツ、各縣ニ一ツ作りマス、其ノ構成ハコチカラ標準ヲ立ツテ、地方廳ニ何レ御示シシマスガ、生産者ノ代表、ソレカラ加工業者ノ代表及ビ學識經驗ノアル人、ソレカラ地方廳ノ官吏、斯ウ云フ者ヲ以テ組織スルヤウニ考ヘテ居リマス

○河野委員 乳價ノ決定權ハ誰ガ持ツノデアリマスカ、其ノ際今ノ協議會ハ、ドウ云フ立場ニアルノデアリマスカ

○岸政府委員 此ノ取引ニ於テハ四條ニ書イテアリマスヤウニ、價格、數量其ノ他取引ノ條件ヲ決メルヤウニナツテ居リマス、ソレハ地方長官ノ認可ヲ受ケルコトニナツテ居リマス、ソレ等ノ點ヲ其ノ協議會ニ掛ケテ、サウシテ乳價及ビ數量ヲ決メテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○河野委員、委員會ニ掛ケルト云フ言葉ハ一體ドウ云フ意味カ私ニハ能ク分ラヌノデアリマスガ、吾々モ實際サウ云フ問題ニ直面致シテ居リマスケレドモ、決定權ガ委員會ニアルノカ、地方長官ニアルノカ、地方長官ニアルトスレバ、何處マデモ是ハ地方

長官デアツテ委員會デハナイ、委員會ニア
ルナラバ委員會ト明瞭ニ御示シテ願ヒタイ
ト思ヒマス

○岸政府委員 結局取引ヲ決メルノハ、最
後ハ役所デアリマスカラ、決定權ハ一應
地方廳ニアルト思ヒマス、併シナガラソレ
ヲ決メルコトハ、唯地方長官ガ官吏トシテ決
メルノデナク、其ノ委員會ニ掛ケテト申ス
言葉ガイケマセヌケレバ、諮問スルヤナウ
形ヲ執ツテ穩健妥當ナル所ニ落付ケテ行ク、
斯ウ云フ考デアリマス

○河野委員 此ノ法律ノ内容ト致シマシテ
ハ、今常識のニト申シマスカ、政治的ニサ
ウ云フ委員會ガ別ニ豫算モ取ツテアルカラ、
又當局モ示スカラ地方廳デ作ルガラウ、作
ラセヌ、ソレニ諮問モスルガラウ、諮問モ
サセルト云フコトデアリマスカ、現實ニ政
治ヲ運用スル場合ニ於キマシテハ、御承知
ノ通りニ入荷ノ二厘、三厘ヲ争フノデアリ
マス、其ノ入荷ノ二厘、三厘ヲ争ヒマス場
合ニ、意見ノ不一致ヲ見ルコトハ當然ナコ
トデアリマス、而モ學識經驗ト云フヤウナ
モノハ、非常ニ詰ラヌモノデアツテ、斯ウ
云フ利害關係ノ非常ニ鏢競合ヲシナケレバ
ナラス場合ニ、何時ノ委員會ニ於キマシテ
モ非常ニ無責任ナ立場ニアル、是ガ公正ナ

ル判斷ヲスル如ク見エマシテ、常ニ非常ニ
無責任ナ立場ヲ執リマシテ、何時デモ是ハ官
僚ニ隸屬のナ立場ヲ執ル、其ノ爲ニ生産者
ガ壓迫セラレルト云フ場合ガ、非常ニ多イ
ノデアリマス、而モサウ云フコトガ私が最
初ニ申述べマシタ所ノ、生産者ニ對シテ不
親切ナル法律デアル、立法的根據ガナイト
云フヤウニ私ハ思フノデアリマス、必ズ其
ノ委員會ニ諮問シテ決定スベシトカ、左モ
ナケレバ何々ノ方法ニ依ツテ決定ストカ、
委員會ノ構成ハドウトカ、而モ酪農組合ノ
問題ニ付テハ、此ノ法律ノ大部分ヲ費シテ
酪農組合ノ問題ガ規定シテアリナガラ、本
法ノ一番重點ハ、入荷ヲ如何ナル方法ニ依
ツテ決定スルカ、取引ノ如何ニスルカト云
フコトガ、今日我國ノ酪農業ノ發達ニ最モ
重大ナル點デアリマス、此ノ取引ノ妥當公正
ナラシメル所ニ重點ガアルノデアリマシテ、
酪農組合其ノモノニ重點ガアルト私ハ考ヘ
ヌ、徒ニ製酪業者ニ對スル對策ノミ急デア
ツテ、本當ノ眼目ノ農村ニ對スル點ニ付テ、
頗ル不親切ノヤウニ思フト申上ゲタノハ其
ノ點デアリマス、本法案全體ヲ通ジテ眺メ
タ時ニ、此ノ製酪組合ト云フコトニノミ親
切デアリ、丁寧デアリ、用意ガ周到デアリ
致シマシタニモ拘ラズ、何故ニ一體農家ノ

方面ニ向ツテ、今御話ノ如クニ、内容ヲ承
ツテ居レバ多少用意ガアル如クニ聞カレル、
併シ本法案ヲ眺メタ時ニ、一體何處ニサウ
云フコトガアルカ、何處ニドウ云フ風ナモ
ノガ考ヘラレルカト云フ點ニ於テ、全ク缺
ケテ居ル、吾々ハ其ノ點ヲ甚ダ遺憾ニ思フ
者デアリマス、是等ニ付テ更ニ詳細ナル用
意ト、準備トヲ御聞カセ願ヒタイト思フ、
一體入荷ノ決定ハドウ云フ風ニシテ、ドウ
云フ方法デアル、今是ニ規定サレマシタ此
ノ法律ヲ眺メルト、徒ニ農家ハ煩雜煩瑣ナ
ル手續ヲ要求セラレルノミデアツテ、逆ニ
又製酪組合ノ強化ニ依ツテ、生産消費者
ト云フ言葉ガ當ルカ當ラヌカ知リマセヌガ、
製造業者ノ方ノ準備用意ノミガ、完全ニ出
來ルコトニ依ツテ、寧ロ一般農民、製乳家
ノ方面ニ於キマシテハ、却テ力ガ弱クナツ
テ、恣ニ納乳ヲ搾取サレルヤウナ結果ニナ
ルコトヲ、私ハ甚ダ惧レル者デアリマス、
此ノ機會ニ農林當局ニ於キマシテ、ソレ等
ノ點ヲ、先ヅ農家ガ乳ヲ搾ツタラ、此ノ法
律ニ依レバ其ノ搾ツタ乳ハドウ云フ徑路ヲ
經テ、ドウ云フ方向ニ向ツテ、ドウ云フ風
ニ決定ノ仕方ニ依ツテ、製造業者ノ手ニ入
ルノダト云フコトヲ、明瞭ニ一ツ御示シテ
願ヒタイ

○岸政府委員 只今重ネテ生産者ノ方ノ規
定ガ非常ニ少イカラ、全體トシテ製酪業者
ニ厚イト、斯ウ云フ御話デアリマス、此ノ
第三條ノ規定ニ於キマシテ、生産者ノ團體
ヲ強化シテ居ルノハ、此ノ生産者方面ニ於
ケル團體協力ニ依ツテ、生産者ノ販賣ニ對
スル力ヲ強メヨウ、斯ウ云フ意味ガ一點ア
ルノデアリマス、是等ハ或ハ新シイ團體ヲ
作ルト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス
ルガ、私共ト致シマシテハ、現在アル畜産
組合ナリ、産業組合ナリ、或ハ農事實行組
合ト云フモノヲ、サウ云フ形デ強化シテ行
ク、是ハ一方ニ於テ立派ナ組織モアリ、立
派ナ力モアルノデアリマス、生産者ニ對ス
ル利益ヲ主張シ得ル力モアルノデアリマス
カラ、ソレヲ強化スルコトニ依ツテ、十分
當業者ニ對スル位置ガ確保出來テ行クト、
斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ中ノ
統制ヲ強化スルト云フコトハ、結局從來ノ
結果カラ見マスルト、或ハ其ノ中ニ團體ニ
於テ決メタ所ノ販賣、其ノ他ニ關スル所ノ
統制ニ服セズシテ仕事ヲスルト云ツタヤウ
ナ者ガアツテ、ソレガ爲ニ生産者ニ不利益
ナコトガ行ハレルト云フコトガアルノデア
リマスガ、其ノ形ニ於テ結束ガ行ハレテ居
リマスレバ、先程申上ゲマシタ第四條ノ特

約取引ヲ決定致シマス時ニ於テ、十分ニ其ノ代表者ノ間ニ於テ、折衝ガ行ハレルナラバ、是ハ生産者ニ十分ナ保護デアリ、サウシテ生産者ノ立場ヲ適正ナ所ニ持ツテ行ケルノデアルト、斯ウ信ジテ居ル譯デアリマス、ソレカラ委員會ヲ此處ニ出シテ、其處ダ決定スルト云フコトニシナカッタノハイカヌデハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、一應御尤ナコトト思フノデアリマスガ、結局此ノ特約取引ヲ決メルノニハ、誰カ最後ニ決メルモノヲ作ラナケレバナラヌノデ、之ヲヤルノハ行政官廳ガ當然ナル責任デハナイカ、斯ウ考ヘテ居ツテ、ソレヲ以テ一應ハ足レリトスルノデアリマスガ、唯ソレガ役人ノ考ダケデ決メルト云フノハイケナイ、故ニ一方ニ於テサウ云フ委員會ノヤウナモノヲ作ツテ置キマシテ、サウシテ意見ヲ圖ハシテ、ソレニ基イテ行動シタイ斯ウ云フ考デ行ツテ居ル譯デアリマス、私共ハ其ノ運用ニ依リマシテ、十分御心配ノ御趣旨ノ點ハ防ギ得ルコトト考ヘテ居ル譯デアリマス

○河野委員 ドウモ御答辯ガ餘リニ獨リ決メデアツテ、豫メ自分ノ豫定「コース」ヲ歩ムノミノ御答辯ノヤウニ承ル、サウ云フコトハ吾々ノ蒙リ啓ク所以デナイ、吾々ノ

聽カントスル所ヲ、此處デ忠實ニ御答フ願ヒタイト思フ、ソレデハ別ナ方面カラ承リタイト思フ、當局ノ御調査ニ依レバ、全國各府縣ト申シマスカ、各郡ト申シマスカ、一體牛乳取引ハ如何ナル單位ニ依ツテ、業考トノ間ニ決定サレテ居ルカ、例ヘバ畜産組合デアリマスレバ郡單位デアリマス、此ノ別ノ勅令ノ事項ニ依ツテ見マシテモ、法人トシテ指定サレテ居リマスモノハ、畜産組合トカ、畜聯乃至ハ産業組合、産業組合聯合會ト云フコトニナツテ居リマス、現在我國ノ牛乳取引ト云フモノハ、一體北海道ヲ除ク以外ノ地區ニ於キマシテ——勿論北海道ニ於テモ一部ハアルト思ヒマスケレドモ、大體牛乳取引ト云フモノハ、ドウ云フ風ナ範圍ニナツテ行ハレテ居ルデセウカ、畜産組合ガ地區内ノ牛乳ヲ取纏メテ業者ト取引シテ居ル、産業組合ガ取纏メテ取引シテ居ルト云フヤウナ取引事情ガ一體多イノデセウカ、ソレ等ノ基礎數字ヲ今御示シ戴カヌデモ、參考資料トシテ御提出願ヘバ尙ホ結構デアリマス、一體各郡——而モ牛乳ノ少イ所ナラ宜シウゴザイマス、多イ所ハ一體サウ云フ取引所ハドウナツテ居リマスカ、少クトモ私ノ承知致シテ居リマス神奈川縣下ニ於キマシテハ、サウ云フモノハ非

常ニ少イガ、他ノ府縣ノ事情等ニ付キマシテ、一應承ツテ見タイノデアリマス、大體特約取引ト申シマシテモ、今仰シヤルヤウニ産業組合ナリ、畜産組合ニ力ヲ與ヘルコトニ依ツテ、斯ウ云フ統制ニ關スル命令ヲスルコトガ出來ルト云フコトヲ以テ、ソレダケデ一體力ガ付クカドウカ、サウ云フ所ニ非常ニ疑問ヲ持ツヌデアリマス、ト同時ニ行政官廳ガ之ヲ決定スル、一應ソレデ宜カラウト御思ヒニナルコトガ間違ヒデアツテ、ソコニ常ニ業者ト農家トノ間ニ非常ニ不滿ガアル、兩方ニ不滿ノアル所ガ一番宜イト云フ議論モアルカモ知レマセスケレドモ、私ハサウデヤナイト思フ、斯ウ云フ所ニ行政官廳ガ、是等ノ取引上ノ弊害ヲ豫防スルトカ、又矯正スル爲ニ必要アリト認メル命令ヲスルコトガ出來ルト云フヤウナ、是等ノ間ニ官僚ノ獨善の立場ヲ十分ニ發揮スル如ク作ツテ置イテ、製酪業ノ方面ダケヲ組合ニシタノハ一體ドウ云フ譯カ、此ノ方ダケハ輸出ニ關スル問題デアルカラ當局ガ本當ノ行政命令權ヲ持ツコトガ必要ナノデアアル、私ガ何故此ノ點ヲ強ク言フカト申シマス、更ニ一段ト突込シテ申上ゲマスレバ、此ノ法案ニ重點ヲ置イテ輸出ニ急ナル爲ニ、官僚ガ一緒ニナツテ此

ノ問題ニ關與致シマシテ、サウシテ輸出ヲ増進スル爲ニ生産費ヲ低下スル、或ハ乳價ヲ切下ゲル必要ガアルト云フコトニナツテ來ル、ソコデ一方ノ乳價ノ決定ニハ、今言フ通りニ業者ト農家トノ間ニ決定サシテ、ソレニ基イタ所ノ製酪品ヲ當局ノ援助ニ依ツテ外國ニ輸出スルコトハ結構デアアル、此ノ立法ヲ見マスルト、外國ヘノ輸出ニ急デアツテ、而モ其ノ爲ニ製酪組合ニ重點ヲ置イテ、安イ物ヲ作ツテ輸出ニ便利ニスル爲ニ、其ノ方ノ製酪組合ガ力ヲ持ツ爲ニ生産費ノ「コスト」ヲ下ゲル、下ゲルニハ牛乳ノ買入値段ヲ下ゲル必要ガアルト云フコトデ、段々漸ヲ逐ウテ其ノ總テノ影響ガ農村ニ及ンデ來ルコトヲ私ハ多分ニ惧レル、之ニ付テノ御所見ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○岸政府委員 農家團體ノ取扱ツテ居ル數量ニ付テハ何レ資料ヲ差上ゲタイト思ヒマスガ、一應御參考ニ申上ゲマス、農家團體ノ取扱ツテ居ル數量ト云フモノハ、農家ノ生産スル牛乳ノ八〇%位ヲ占メテ居ルノデアリマス、産業組合ノ取扱ツテ居ルノガ其中ノ八九%、畜産組合ノ取扱ツテ居ルノガ四%、其ノ他ノ團體ガ七%デゴザイマス、サウ云フ狀態デゴザイマシテ、私共ノ方デ牛乳ノ共同處理ヲ通ジテヤツテ居リマスノ

八年々殖エテ居リマシテ、今組合數ガ三百ニナツテ居リマスルガ、其ノ三分ノ一ハ政府ノ共同施設獎勵ニ依ツテ助成ヲ受ケテ、處理場ヲ作ツテ仕事ヲシテ居ル狀態デアリマス、隨テ最近ノ傾向トシマシテハ、サウ云フ風ナ集團的ニ、特ニ産業組合、畜産組合ヲ通ジテヤラウト云フ傾向ガ多イノデアリマス、ソレカラ重ネテ製酪業者ニ厚イト云フ御話ガアリマシタガ、此ノ第四條ノ規定ノ如キハ、單ニ農家ニ對シテ強イコトヲ言フダケデハナイノデアリマシテ、其ノ相手方デアル所ノ製酪業ヲ營ム者ニ對シテモ言ヒ得ルノデアリマス、サウ云フ考ヲ以テ規定サレテ居ルノデアリマス、ソレカラ價格ノ決メ方ハ輸出ニ急デアルカラ、結局生産品ノ價格ヲ下ゲテ行クノデハナイカト云フ御懸念ハ、一應御尤デアルト思フノデアリマス、勿論可能ナル範圍ニ於テ生産費ノ制限ト云フコトハ論ノ無イコトデアリマスルガ、是ハ勿論中央ノ協議會ニ於テモ論ジナケレバナラヌ問題デアルノデアリマスルガ、乳價ト云フモノハ、一方ニ於テハ農家ノ乳ノ生産費、一方ニ於テハ其ノ加工業ノ狀態ト云フモノヲ睨ミ合セテ研究サレテ行カネバナラヌト思フノデアリマス、サウ云フ全體ノ約合ニ付テハ中央ノ協議會ニ於テ、

勿論生産者及ビ加工業者ノ代表者——加工業者ノ代表者ト言ヒマスルト、恐ラク製酪組合ノ者デアラウト思ヒマスルガ、其ノ他澤山ノ關係ノ人ニ集マツテ戴イデ、サウシテ研究ヲシテ戴イテ進ミタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、デアリマスカラ私ハ此ノ意味ニ依リマシテ、御懸念ノヤウナコトハナイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○河野委員 具體的ニ御尋シマスガ、「製酪業組合ハ左ノ事業ヲ行フコトヲ得」ト云フ第十條ノ規定ニ依リマシテ、四ノ「製酪業ノ經營ニ必要ナル物ノ供給」ト云フコトニナリマシテ、製酪業組合自體ガ牛乳ノ共同買上モ出來ルコトト私ハ思フ、又はハ法ニ依ツテ獎勵サレル、是ハ今ノ一應ノ考デハ、罐詰ノ罐ヲ共同デ得ルトカ云フ御考デアルカモ知レヌガ、見ヤウニ依レバ決シテ惡イコトデナイ、ヤルコトハ結構デアル、此ノ組合ノ本來ノ使命カラ行ケバ結構ナコトと思フ、一方ニ於テ製酪業組合ニ於テ、製酪業ノ經營ノ上ニ必要ナル物ノ供給ト云フコトニナツテ來レバ、一方ノ購買關係ノ上ニ於テ一ツノ纏マツタ全國一般ノ團體ニ於テ之ニ對抗スル、一方デ地方ノ區々タル小サナ産業組合デアルトカ、畜産組合ト云フ風ナ個々ノ立場ニ於テ是ト對抗スルト云フコトニナツタ場

合ニ、私ガ先程申上ゲタヤウナ懸念ガ起ルノデハナイカ、私ハ此ノ法案ニ依ツテ言フノデアリマススケレドモ、御承知ノ通り此ノ法案ノ説明ニモアリマスルヤウニ、又内容ニモサウアリマスヤウニ、當局ノ考ヘテ居ラレルコトガ、北海道ノ製酪事業ト、反面ニ於キマシテ靜岡縣ニ非常ニ工場ガ澤山建ツタ、ソレニ依ツテ起ツタ所ノ弊害、是等ヲ見ルニ急デアツテ、他ノ一般ノ地方ノ地區ニ對スル觀念ガ薄イノデヤナイカト思フ、申上ゲテハ甚ダドウカト思ヒマスガ、今日最モ急激ニ斯ノ業ノ發展シテ參ツタノハ、神奈川縣等ハ最モ其ノ好イ例デヤナイカト思フ、所ガ神奈川縣等ノ例ヲ見マシテモ、決シテ農家ガアレダケ熱心ニヤリ、アレダケ熱心ニ乳量モ出シテ來テ、旨ク行ツテ居ルカト云フト決シテサウデハナイノデアリマス、内容ニ入ツテ親シク是等ノ實情ヲ調べ見マス、決シテ當局デ考ヘテ居ラレルヤウナモノデヤナイ、事毎ニ業者ノ方ガ横暴デアツテ、我儘デアツテ、勝手デアツテ、常ニ農家ノ方ガ専門的ノ方々カラ見ラレバ、吾々ガ見ルヨリヨリ一層馬鹿々々シク胡麻化サレテ居ルノガ實情デアリマス、元來ガ生産者ノ代表者ト是等ノ業者ノ代表者ト集リマシテモ、ヤレ資本ガ、ヤレ資本ガドウ

ダノ、細菌數ガドウダノ、ソレヲ價格ニシタ場合ニドウダノト云フコトヲ、委員會デ相談スレバ、其ノ委員會ガ中々太刀打ガ困難デス、ソレヲ今私ガ申上ゲルヤウニ、一方ハ製酪組合ニ於テ専門的ニ研究モスル、調査機關モ持ツ、力モ強クナル、ニモ拘ラズ、一方ハ唯三條、四條ノ規定ニ於テ當局ガ斯ウ云フ風ナコトヲシテヤルトカ、斯ウ云フヤウナ命令ヲシテヤルトカ、生産者團體自身ニ對シテハ、何等ノ力ヲ與ヘテ居ラヌ、團體交渉權ト申シマスカ、大キナ團體ノ力ヲ以テ之ニ對抗スル力ヲ與ヘズシテ、一方ニノミ與ヘテ居ルト云フコトニ非常ナ遺憾ナ點ガアル、而モ只今ノ局長ノ御答辯ニ依リマスレバ、決シテ輸出ニ急ナル餘リ、生産ノ「コスト」ヲ下ゲルヤウナコトハシナイト仰シヤイマスケレドモ、ソレハ如何ナルコトニ依ツテ斷言ガ出來ルカ、輸出ヲ増進スルノニハ生産費ノ「コスト」ヲ下ゲテ價格ヲ低廉ニスル、ソレト吾々農村側カラ主張致シマスル所ノ、販賣價格ヲ高クスルト云フコトトハ、正面衝突スルノデアリマス、ソレ等ヲドウシテ調節スルカ、何處ノドノ條項ニ依ツテ調節スルカ、地方長官ハ之ニ對シテ命令權、決定權ヲ持ツテ居ルト云フダケデハ、餘リニ私ハ此ノ法律全體

ヲ通ジテノ氣持ガ、製酪製造業者ニノ厚ク、吾々農村ノ個々ノ農民ニ對シテ、非常ニ薄イト云フ疑問ヲ去ルコトガ出來ナイ、此ノ程度デ一應當局ノ所見ヲ質シテ置キマセウ

○岸政府委員 最初ノ御話ノ十條ノ事業中

「製酪業ノ經營ニ必要ナル物ノ供給」ト云フノガアルガ、是デ何デモ出來ルデハナイカト云フ御話ノヤウデアリマスガ、元來此ノ團體ハ、乳ヲ自分デ買込デ製造ヲヤルヤウニシテ行クコトヲ考ヘテ居ルノデハナイノデアリマス、先程御示シノ通り、全クソレニ必要ナ資材ヲ供給スル爲メ即チ製罐用ノ鋳力板、鋳力罐或ハ其ノ他必要ナルモノヲ、必要ニ應ジテヤツテ行クト云フダケノ問題デアリマス、ソレカラ重ネテ製酪業組合ノ方ガ強クテ、生産者ノ團體ノ方ガ弱クナル、總テノ場合ニ不利益デアアル、斯ウ云フヤウナ御話デアリマシタガ、中央ノ協議會ニ於キマシテハ、勿論生産者團體ノ代表ニ出テ戴クコトニ考ヘテ居リマス、是ハ産業組合ナラバ産業組合ノ中央團體ガアリマスガ、畜産組合デハ畜産組合ノ組織ノナ中央機關ト云フモノガアリマセヌ、是等ニ付テハ他ノ團體統制ノ關係モアリマスノデ、マダ肚ヲ決メ居テリマセヌガ、併シ何等カノ形ニ

於テ、畜産組合ヲ代表シ得ル人ガ入ツテ之ニ加ハルコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ點十分ニ其ノ團體ノ力ヲ伸バスコトニ依ツテ、今御懸念ノ點ハ抑ヘラレテ行クノデハナイカト思フノデアリマス、先程私ガ申上ゲマシタ點ガ、不十分デアリマシテ、原料ヲドシ、高クシテモ輸出ヲシ得ルヤウニスルニハ、ドウスレバ宜イカト云フ御質問ノ出ル程徹底シナカツタノデアリマスガ、私共トシテモ生産費ヲ下ゲテ、海外市場ニ出スコトニ付テハ、是ハ製乳ノ生産者側ニ於テモ、加工業者側ニ於テモ、共ニヤラナケレバナラヌダウラト考ヘテ居リマス、其ノ點ヲ何處ニ落著ケルカト云フコトガ、結局一方ニ於キマシテ、其ノ基礎的ノ調査ニ依ル所ノ資料ニ依ツテ決定ヲ致シマスルガ、同時ニ各方面ノ御立場ノ意見ヲ闡ハシテ、妥當ナル所ニ落著ケタイト考ヘテ居ルノデアリマス、固ヨリ各、立場ガアリマスカラ、議論ハ簡單ニハ盡キナイト思ヒマスケレドモ、私ハソコニ一致點ガ見出し得ルヤウニナルノデハナイカト考ヘテ居リマス、此ノ案全體ト致シマシテ、私共ハ日本酪農ガ共存共榮デ進んで行クト云フコトヲ考ヘテ居リマスノデ、御互ニサウ云フ各、立場ヲ認メル機會ガ出來ルナラバ、ソコニ一致點ガ見出し

得ルノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス
○河野委員 第十條ノ四ノ「製酪業ノ經營ニ必要ナル物ノ供給」是ハ組合ガドシ、買ツテ、ドシ、製造スルト云フコトデナクテモ、凡ソ酪農組合デアル以上ハ、共同購入ノ形ニ於テ乳價ノ決定ヲスルコトハ出來ルダラウト思フ、ドウセ罐ヲ買フ場合ニ致シマシテモ、何ヲ買フ場合ニ致シマシテモ、共同購入ノ形式ヲ取ツテヤルノデアツテ、又是ハ理想的ニ行クナラバ、一方ニ於テ農家ガ全國的ニ一ツノ團體ヲ持チ、一方ニ於テ製酪業ノ組合ガ團體ヲ持ツ、團體ト團體トノ間ニ適當ヲ決定ガ出來ルナラ、サウ云フヤウナヤリ方モ一ツノ方法デアラウト思フ、所ガ一方ダケ作ツテ、一方ハ全ク閑却シテオ居デニナルカラ、私ハ此ノ法律ガドウモ面白クナイ、斯ウ云フヤウナ懸念ヲ持ツノデアリマス、更ニ進ンデ御尋致シマスガ、御承知ノ通り我國ノ現在ノ農乳ノ價格ト云フモノハ、當局ノ御調ニ依リマスレバ、ドウ云フコトニナツテオ居デルカ知レマセヌケレドモ、吾々ノ承知致シテ居リマスル所ニ依リマシテモ、恐ラクハ一升ニ付テ最高ト最低トノ間ニハ、多イ時デモ六錢トカ八錢トカ云フ販賣價格ノ相違ガアルダラウト思フ、是等ガ一體此ノ法律ガ出來

テ後ニハドウ云フコトニナツテ來ルカ、農乳ノ販賣價格ハ、此ノ法律ガ決定施行サレタ後ニ於テハ、一體現在ノ取引事情ハドウ云フ風ニ變化シテ來ル御見込カ、一ツ承ツテ置キマス

○岸政府委員 只今ノ御質問ハ、日本ノ現在ノ乳價ハ地方的ニ色々違ツテ居ルデアラウ、地方的ニ色々變ツタ狀態ニアルノデアラカラ、此ノ法律ガ施行サレルコトニ依ツテ、農乳價格ガドウ云フ影響ヲ受ケルカト云フコトデアラウト思ヒマス、現在ノ農乳ノ價格ト云フモノハ、私共ノ調べテ居ル資料デハ、地方的ニハ左程ニ今開キガナイノデアリマシテ、市乳ニ付テハ——搾乳者ノヤツテ居ルモノニ付テハ、地方的ニ違ヒマスガ、農乳ニ付テハ殆ド違ヒナイノデアリマス、之ヲ全國的ニドウスルカト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、中央ノ協議會ニ於テ無論取上ゲラルベキ所ノ問題デアルト思フ、其ノ際ニ於キマシテ各地ノ地方的ノ事情、生産實地ノ關係等ヲ考慮致シマシテ、檢討ヲ加ヘタイト思ツテ居リマスガ、今ノ事情デ申シマスレバ、全國的ニサウ差ヲ付ケル必要モナイノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ想像致シテ居リマス、勿論是ハ加工業者ニ行ク乳ト、販賣業者ニ行ク乳トノ間ニ

於テ、差ガ出來ルコトガアルカモ知レマセ
スガ、一應ノ基準ト云フモノハ、サウ云フ
風ニ言ヒ得ルト考ヘテ居リマス、尙ホ先程
ノ製酪業組合ノ點ニ付テ少シ補足シマスレ
バ、此ノ組合ヲ作ツタト云フコトモ、一ツ
ハ此ノ組合ヲ十分ニ監督シテ間違ノナイヤ
ウニスルト云フコトノ考デ、十分ノ監督ヲ
爲シ得ル爲ニヤツタノデアリマスカラ、御
參考マデニ申シマス

○河野委員 一寸御尋シマスガ、當局ガ御
調べニナリマシタ全國ノ農乳ノ販賣價格
ハ、何時頃一體ドウ云フ地方ニ對シテ御調
ベニナツテ、大シタ違ヒハナイト御答辯ニ
ナルカ、其ノ基礎ヲ御話願ヒタイ、ソレカ
ラ更ニ御尋致シマスガ、製酪業組合ハ斯ウ
云フモノヲ作ツテ監督ヲシヨウト云フ氣持
ガ多分ニアルノダ、サウ云フ風ニ色々目的
ヲ後カラ話サレト、段々考ヘ方ガ變ツテ
來ル、初メハ此ノ目的ニ書イテアリマスル
ヤウニ、一應解釋シテ御尋ヲセザルヲ得ヌ
ノデアリマスガ、今御話ノヤウニサウナリ
マス、是ハ又吾々トシテハ觀念的ニ違ッ
テ來ル、何様我國ノ製酪業ト云フモノノ進
歩ノ跡、發展ノ跡ヲ考ヘテ見シテモ、是ハ
各方面ノ吾々ノ先輩ノ非常ナル努力ニ依ッ
テ、今日ノ發展ヲ見タノデアリマシテ、是ガ弊

害デアルトカ、是ガ除去スベキ點デアルトカ
云フコトハ、無論考ヘナケレバナリマセヌケ
レドモ、一方ニ於テハ吾々ハ其ノ功績ヲ多
分ニ認メナケレバナラスト思フノデアリマ
ス、之ニ對シテ今ドノ分野ニ、ドノ點ニ於
テ當局ノ監督ノ必要ナ點ガアルカ、ドノ方
面ニ一體當局ガ之ニ「タッチ」ヲシナケレバ
ラス重點ガアルカト云フコトニ付テハ、私
ハ聊カ今ノ御話ニ依リマス考ヘ方ガ違フ
ノデヤナイカト思フ、製酪業其ノモノヲ取
締ルトカ、之ニ對シテ發言權ヲ持ツ爲ニ、製
酪業組合ヲ作ルノダト云フヤウナ觀念ガ相
當ニアルノダト云フコトニナリマスレバ、先程
私が申上ゲマシタヤウニ、牛乳ノ取引、乳價
ノ決定、賣買條件ノ決定ト云フコトヲ嚴ニ
御取締願ヒ、之ニ對シテ當局ガ公正ナル意
思ヲ發表シテ戴キマスレバ、ソコニ今後ノ
製酪事業ノ發展ト云フモノガ私ハアルと思
フ、唯最近ノ當局ノ態度ヲ見マシテモ、吾
吾外カラ色々承ツテ居リマス所ニ依リマシ
テモ、例ヘバ罐ノ配給權ヲ持ツタガ爲ニ――

此ノ物資ノ統制ノ關係カラ、當局ガ罐ノ配給
ヲ心配スル爲ニ、農林省ノ或ル役人ノ如キ
ハ、吾々ガ本邦ノ製乳界ニ於テ最モ尊敬シ
テ居ル所ノ或ル人ニ向ツテ、相當無禮ナ言
マデ吐イテ居ル、一體益、サウ云フコトニ

關與スレバスル程、寧ロ今日ノ統制ニ急デ
アツテ、弊害ノ方面ニ付テ、吾々ガヨリ以
上心配スル點ニ付テ、考慮シナケレバナラ
ヌヤウニナツテ來ル、私ハサウ云フ氣持デ
ナシニ、何處マデモ製酪事業ノ發展、發達、
サウシテ一方ニ於テハ有畜農業ノ獎勵デア
リ、一方ニ於テハ外貨獲得ノ手段デアルト
云フコトニ、總テノ目的ヲ吾々ハ置キタイ
ノデアツテ、苟モ官僚ガ是等ノ業界ニ一ツ
ノ地位ヲ獲得スルトカ、權力ヲ持ツトカ、
勢力ヲ張ルトカ云フヤウナ觀念ガアルコト
ハ、勿論排除スベキガ當然デアルト同時ニ、
サウ云フ風ナ點ガ法律ノ上ニ、成ベク現
レナイコトヲ吾々ハ希望スルノデアリマス、
今畜産局長ノ御話ノヤウニ、畜産局長自身
ニ付テハ、私ハサウ云フコトヲ今マデ考ヘ
タコトハナイ、所ガアナタノ部下ニハサウ
云フ者ガ多イ、名前ヲ言ヘト言ヘバ申上ゲ
ルガ、私ノ有力ナル先輩ニ對シテ、非常ニ
無禮ナ言ヲ吐イタ者ガアリマスガ、其ノ先
輩ガ非常ニ憤慨シテ私ニ言ツタコトガアル、
法律ガナクテモサウ云フヤウナコトマデヤ
ル、一旦法律ヲ作り、今言フヤウナ製酪業
組合ニ對スル觀念的ナコトヲ畜産局長ガ考
ヘラレルニ至ツテハ、ドウ云フ場面ガ起ツ
テ來ルカ私ハ分ラスト思フ、而モ斯ノ如キ

一般ノ業者ニ對シテハ、大シテ關係ノナイ
法律ヲヒタ隠シニ隠シテ、極秘ニシテ進マ
レルコトハ滑稽ノ限リダト思フ、何デ斯ウ
云フ法律デヒタ隠シニ隠シテ極秘ニシテ進
マレル必要ガアルカ、一部ノ者ニ言ツテ、
他ノ者ニハ隠シテ進マレル必要ガアルカ、
ソレ等ノ態度ニ付テ私ハ甚ダ疑義ヲ持ツ、
ソコデ斯ウ云フ法律ニ付テ吾々ハ先ヅ其ノ
出發ニ於テ色々疑問ヲ持ツテ居リマスルガ、
質問シマスコトモドウシテモ諄クナリ、ド
ウシテモ色々ナ方面ニ向ツテ質問シナケレ
バナラスヤウニナツテ來ルノデアリマス、
法律全體ニ付テ疑惑ノ目ヲ以テ吾々ハ質問
スルト云フコトガ、此ノ法案ニ臨ム第一ノ
觀念デ、甚ダ是ハ申上兼ネルコトデアリマ
スケレドモ、サウナラザルヲ得ヌ、特ニ當
局ニ御考ヲ願ヒタイコトハ、只今私が申上
ゲマスヤウニ、サウ云フヤウナ觀念ヲ持ツ
コトハイカスト云フコトデアリマス、一體
ガ現畜産當局ノ一部ニハ一度法律ヲ待ツト、
マルデ其ノ法律ヲ自分ノ勝手ニ玩具ニ使ッ
テ宜イ刀デアアルカノ如クニ振廻ス、振廻ス
ペカラザル所ニマデ振廻ス嫌ガアル、業界
ノ爲ニ甚ダ嘆カハシイコトデアリマス、是
ハ現ニ畜産局長初メ農林首腦部ニ於テ、御
考直シヲ願ハナケレバナラス、吾々ガ時局

ノ認識ノ上ニ於テ、是モ必要ダ、アレモ必要ダト云フコトデ、當局ヲ信賴シテ通シタ法律ガ、當局ノ運用ニ依ツテ非常ニ業界ニ波瀾ヲ起シ、業界ガ迷惑ヲシテ居ル問題ガ非常ニ多イ、是等ニ付テハ私ハ詳細ナル検討ヲ加ヘル用意ト、覺悟ヲ持ツテ居ル者デアリマスルケレドモ、サウ云フ點ニ付キマシテハ、嚴ニ御慎ミヲ願ハナケレバナラヌト思フ

ソコデ次ニ御尋フ致シマスガ、第二條ニアリマス「行政官廳ノ指定スル地域」ト云フノハ、一體ドウ云フ基準デ御決メニナルカト云フコトヲ御尋シマス

○岸政府委員 先程御尋ノ乳價デアリマスガ、是ハ私共ノ方デ調べダノデアリマス、ズツト昭和三年頃カラ各地方ニ就イテ調べテ居リマス、ソレニ依リマス、北海道ハ十三年ニ於テ平均ガ十六錢六厘四毛、房州ガ十六錢一厘四毛、三島ガ一寸高イヤウデアリマシテ十七錢八厘一毛、淡路ガ十六錢二厘、非常ナ差ハナイノデアリマス、大體同ジヤウニ行ツテ居ルノデヤナイカト思フノデアリマス

○河野委員 神奈川縣ハナイデスカ

○岸政府委員 神奈川縣ハ市乳關係ガアルカラ高イサウデアリマス、ソレカラ製酪業組

合ニ關係シテ、政府ハ斯ウ云フ法律ヲ作ツテ業界ニ迷惑ヲ掛ケルト云フ話デアリマスガ、勿論サウ云フヤウナコトハ夢ニモ考ヘテ居ル譯デハアリマセヌ、若シ御注意ノヤウナコトガアリマスレバ、ソレハ勿論私共十分注意ヲシテ進ミタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二條ノ「行政官廳ノ指定スル地域」ト言ヒマスノハ、現在ニ於キマシテ工場其ノ他ノ建ツテ居ル道府縣ヲ考ヘテ行キタイ斯ウ考ヘテ居リマス、其ノ數ハ二十五位ニナルドラウト思ヒマス

○河野委員 二十五府縣ト云フコトデスカ
○岸政府委員 サウデス

○河野委員 私ハ一例ヲ神奈川縣ニ採ツテ申上ゲタガ、神奈川縣ハ市乳關係ガアルカラ云々ト云フコトデスカ、茲デ念ノ爲ニ私ハ申上ゲテ置キマスガ、私ガ神奈川縣ノ出身デアリマスカラ、神奈川縣ヲ言フノニアラズシテ、神奈川縣ノ乳量ト云フモノハ、私ガ申上ゲルマデモナク、今マデノ牛乳ノ觀念ナラバ北海道、千葉、静岡ト云フコトデアツタノガ、今デハ静岡縣ハ神奈川縣ノ一郡以下ノ乳量ニ減ツテ居ルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、隨テ神奈川縣ノ牛乳ヲ無視シテ、牛乳問題ヲ決定スルコトハ非常ニ早計ダト云フ程度ノ地位ニ神奈川縣ガ

アリマスコトハ、御承知ノ通りデアリマス、市乳關係ガアルカラ云々ト申サレマスケレドモ、御承知ノ通り農家ト製造業者トノ間ニ取引スル場合ニハ、市乳云々ト云フコトハ條件ニ入ツテ居リマス、ヤハリ彼等ハ農乳トシテノ條件ヲ決定シテ居ルノデアリマス、農乳トシテ條件ヲ決定スル場合ニ、當局ガ是ハ市乳關係アルカラ、其ノ値段ハ考慮ニ入レラヌ、今仰セノヤウニ神奈川縣ノ乳價ハ市乳關係ガアルカラ、決定ガ出來ナイト云フコトニナリマシテ、調査ノ中ニ入ツテ居ラス、ト云フコトニナリマス、將來神奈川縣ノ乳價ヲ決定シマス場合ニハ、ドウ云フ風ニシテ決定スルノカ、而モ此ノ神奈川縣ノ乳量ト云フモノハ、少イノデハナイ、現在デハ日産百三十石位出テ、静岡縣ノ倍位出テ居ル、此ノ乳量ニ對シテドウ云フ風ニ決定スルカ、是ハ市乳關係ガ入ツテ居ルカラダト云フコトハ、私ハ當ラヌト思フ、御承知ノ通り神奈川縣デハ、既ニ此處ニアリマス法律ノ全條——一條、二條、三條、四條程度ノ縣令ヲ以テ運用シテ居ル、其ノ際ニ神奈川縣一圓トシテ乳價ノ決定ヲシテ居ル、其ノ決定價格ハ、今局長ノ御讀ミニナツタ價格ニ比ベタナラバ非常ナ開キガアル、現ニ最近決定致シマシタ所ハ、一

升二十二錢六厘デアリマス、サウ云フ風ニ違フノデアリマス、ソレニ對シテ神奈川縣ノ中郡ノ乳價ハ、更ニソレヨリ七厘高デアリマス、サウ云フヤウニ非常ニ乳價ノ決定ガ區々デアリマス、此ノ區々ニナツテ居ルモノヲ、本法ノ運用ノ結果ドウ云フコトニナルカ、大シタ違ヒハナカラウ、違ヘル必要ハナカラウト云フコトニナレバ、吾々ハ絕對反對デアリマス、今御話ノヤウニ十七錢ト二十二錢、即チ一升ニ付テ五錢モ違フモノヲ、此ノ法律ニ依ツテ大シテ違フコトハナカラウト云フヤウナ觀念デ運用セラレテハ、我ガ神奈川縣ノ有畜農業ト云フモノハ、根本カラ之ニ依ツテ打撃ヲ受ケルノデアル、サウ云フ考ヘ方ハ吾々トシテハ斷ジテ贊成出來ナイノデアリマス、是ハ一神奈川縣ノ問題デヤナイ、全國ニ地域的ニハサウ云フモノハ澤山アル、東京府ノ如キモサウダラウト思フ、多摩ノ牛乳アタリハ、相當ノ値段デ賣レテ居ルト云フコトハ、見逃スコトノ出來ナイ事實デアリマス、千葉縣デモ安房ノ牛乳ハ、只今ノ値段デアリマスケレドモ、東京ニ接近シタ所ノ乳價ハ高イノデアリマス、地域的ニ縣ヲ單位ニシテ御考ニナリマスレバ、サウ云フコトニナリマス

ケレドモ、各郡單位、畜產組合單位ト云フコ

トニナリマスレバ、必ズシモサウ云フ單一ナ譯ニハイカヌノデアリマス、是等ニ對シテドウ云フ御考デアリマスカ

○岸政府委員 神奈川縣ノ乳價問題ニ付テ

先程私が申上ゲマシタ資料カラ言ツテ、全國ガ略、一樣デアルガ、ソナモノ決メラレテハ甚ダ迷惑ナ話ダ、斯ウ云フ御質問デアリマスガ、勿論私が先程申上ゲマシタル價ト云フノハ、十三年ニ於ケル是等ノ地方ノ狀態ノ平均ヲ申上ゲタダケナノデアリマシテ、是等ノ地方ニ於テモ、或ハ今生産費ノ關係デ、乳價ガ上ツテ居ル地方モアルト思ツテ居リマスガ、是等ハ何レモ先程申上ゲマシタヤウニ、地方ノ生産狀況、其ノ他ヲ考ヘテ、モツト研究シナケレバナラスモノデアルト思ツテ居リマス、先程私が申上ゲマシタノハ、少シ言葉ガ足りナカツタノカモ知レマセスガ、加工乳トシテハ略、同ジガラウト思フノデス、隨ヒマシテ市乳等ニ付テハ、之ヲドノ位ニスルカト云フコトハ、別途ニ研究スベキ問題ダラウト思ヒマス、是等ノ點ニ付キマシテモ、是ハヤハリ協議會等ノアル際ニ、十分ニ資料ヲ持寄ツテ檢討シテヤルベキデヤナイカト考ヘル次第デアリマス

ソレカラ神奈川縣デヤツテ居ル酪農ノ色

色ノ御施設ニ付テハ、私共モ内容ヲ知ツテ居リマスガ、私共トシテハ大體結構ナコトダト考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレニ依ツテ十分統制ガ取レテ行ケバ、結構ト考ヘマス

○河野委員 先程モ申上ゲマシタヤウニ、

市乳ノ場合ハ別ト仰シヤイマスケレドモ、今農乳ガ取引サレル場合ニ、市乳トシテ取引サレテ居ルモノガドレ位アリマスカ、農乳ノ大部分ハ「バター」ノ原料、「チーズ」ノ原料ト云フヤウナ意味デ、工業用ノ原料乳トシテ取引スルノデアリマス、其ノ中カラ業者ガ勝手ニ最近二百萬以下デアルトカ何トカ云フコトデ、之ヲ市乳ニスルノデアリマス、併シ市乳トシテ取引スル場合ハ、私ハ殆ドナイト思フ、殆ド市乳トシテ買上ゲズシテ、之ヲ市乳ニ勝手ニスルノデアリマス、勝手ニスルト言フト語弊ガアルカモ知レマセスガ、彼等ガ之ヲ市乳適當品トシテ市乳ニスルノデアツテ、取引ノ場合ニハ何時デモ農乳トシテ取引ヲシテ居ル、値段ガソレダケノ違ヒガアル、神奈川縣ノコトヲ申サレマシタケレドモ、神奈川縣ノ十三年ノ數字ハ、去年ノ七月ニ決メタモノガズツト引續キマシテ、一疋十錢以下ニ下ツタコトハナイ、何時デモ二十錢以上デアリマス、二

十一錢、二十二錢、二十三錢ト云フ數字デアリマス、決シテ我が地方ニ於ケル數字ハ二十錢ヲ下ツタコトハナイノデアリマス、サウ云フ風デアリマスモノヲ、今御話ノソレゾレノ地區ニ於キマシテ、假ニ神奈川縣内ニ於テモ、只今私ノ居リマス中郡ノ如キハ、他ノ神奈川縣ノ一般ノ決定ヨリモ、更ニ七厘高デ買ツテ居リマス、斯ウ云フ地方地方ノ事情デ買上値段ト云フモノハ違フノデアリマス、其ノ違フモノヲドウ云フ風ニナサルカ、此ノ法律ノ適用ノ結果、ドウ云フ影響ヲ來シテ居ルカト云フコトヲ承ルノデ、初メカラ大シタ違ヒガナイト云フコトデ、片付ケラレテハ私ハ少シ片付ケ方ガヒドイト思フ、此ノ地方ノ事情ガサウナツテ居ラスノミナラズ、今御話ノヤウニ、ソレゾレノ場合ニ於テ、材料ヲ持寄ツテ檢討スレバ宜イデヤナイカト云フ御話デアリマスケレドモ、是ハ吾々ハ承服出來ヌ、何故ナレバ、是ハ私ハ特ニ最近サウ云フ感ヲ深クシテ居ル、政府ガ開ク委員會ニ於テ決メルト云フコトハ、官僚ノ安全辦ニ使ハレルダケデ、役人ガ決メテ來タモノヲ、其ノ安全辦ニ使ハレテ賛成ト云フコトハ、御用黨議員ガ賛成ト云フコトト同ジコトデアル、其ノ委員會デ、委員ガ發言シテ原案ヲ修正シ

テ、之ヲ云々スルト云フコトハ殆ド有り得ナイ、ソコマデ行ツテシマツテハ、生産者ノ意見ヲドウスルトカ、生産者側ノ希望ヲドウスルト云フコトハ中々ヤリニクイ、ソレデアリマスカラ、ドウシテモ委員會ニ於テ十分ノ檢討ヲスルカラ、委員會ニ於テヤルカラト云フコトハ、今マデ農林省ニ散々其ノ手デ吾々ハヤラレテ居ル、ソナコトデ行クコトハ、吾々トシテハ農家ノ立場ヲ嚴ニ監視スル點カラ參リマシテ、一步ソコマデ入ルコトハ、吾々ノ好マザル所デアル、議會ニ於テ明ニスベキ點ハ何處マデモ明ニシテ、サウシテ委シタナラバ何處マデモ役人ニ委スト云フコトニ、吾々ハ行クコトガ我が議會政治ノ根本義デアルト云フコトヲ、強ク信ジマスガ故ニ、當局ニ於テモ其ノ意味デ、十分ナル準備ト十分ナル用意ノ上ニ、吾々ノ質問ニ對シテ十分ナル御説明アラシコトヲ御願致シテ置キマス

○岸政府委員 農乳ノ中カラ市乳ニドレダ

ケスルカト云フコトニ付テハ、農乳八十万石程アリマス中、一割程度デバナイカト思ツテ居リマス、ソレカラ今乳價決定ノ點ニ付テ、單ニ持寄りデ話ヲスルノデハ頼リナイト云フ御話ガゴザイマシタガ、無論生産方面其ノ他ノ材料ヲ整ヘマス場合ニ於テ

ハ、只今御注意下サツタ點ハ、十分考ヘテ決メナケレバナラヌト思フ、氣持トシテハ、私共ガ自分ノ案ヲ押付ケテ云々ト云フコトニハ、固ヨリ參リ兼ネルコトト思ヒマス、其ノ點ノ參考ニナル材料ニ付テハ出來ルダケ集メテ、妥當ナル御審議ヲ願ヘルヤウニシテ行キタイ、斯ウ云フ氣持デ居ル譯デアリマス、又其ノ氣持ハ是カラ先モ變ヘナイ積リデアリマス

○北委員 一寸ソレニ關聯事項デ——只今河野君カラ劃一的統制ト云フ言葉ガ出テ居リマス、是ハ非常ニ農家トシテハ困ルコトデアル、私ハ其ノ體驗ヲ持ツテ居リマス、私實ハ北海道デアリマスガ、北海道ハ理想的ナ統制ガ出來テ居ル、乳價ノ決メ方ガ劃一的ニナツテ居ル爲ニ、實際問題トシテハ非常ニ困ル點ガアル、同ジ北海道デモ、開ケタ地方ト野草地帯ノ段々奥ノ方ヘ開ケテ行ク所トアリマス、乳價問題ガ起リマスト、早く開ケタ地方ハ安イ乳價デハ行ケナイノニ拘ラズ、何時モ安イ乳價ニ決メラレテシマフ、是ガ一番困ル點デアル、例ヘバ都會地方面デアリマス、濃厚飼料ヲ主トシテ使ツテ行カナケレバナラス、奥地ノ方デスト野草地帯デ、ドンナコトヲシテモヤツテ行ケル、ソレナラバ北海道ノ乳價ヲ二

ツニ分ケルコトガ出來ルカト云フト、ソレガ出來ナイ、絶對ニ安イ地方ヲ土臺ニシタル價ニ決メラレテ居ル、ソコデ早く開ケタ方面デハ段々牛ガ減ツテ居ル、是ハ困ツタコトデアルト云フノデ、或ル會社ノ如キハ乳價ハ相當高ク買ツテモ宜イト云フ考ヲ持ツテ居ル、又其ノ會社ハ乳ガ減ツテ來タノデ、實際經營上ニ非常ニ困ツテ居ル、七十万圓カラ掛ケテ居ル會社ガ遊バナケレバナラヌヤウニナル、ソコデ何トシテモ五十万石、七十万石ノ乳ガナケレバ經營ガ出來ナイカラ、乳價ハ高クシテモ宜イト云フ考ヲ持ツテ居ルノニ、之ヲヤラサナイ、ソコデ劃一的ト云フコトハ、本法ヲ施行シテ行ク上ニ於テドウデアラウカト思フ、此ノ統制ノ爲ニ牛ガ減ツテ行クコト云フ問題ガ起ルノヲ、ドウスル積リデアルカ、之ヲ承ツテ置キタイ

○岸政府委員 劃一的統制ニ付テノ御質問デアリマスガ、實際乳價ノ決メ方ニ付テハ、恐ラク今御話ノヤウニ、地方ノ地域的ノ關係ガ違ツテ來ルガラウト思フ、生産費ノ問題ナラバ、都會附近ノ生産費ト都會カラ離レタ所ノ生産費ガ違ツテ來ルコトハアリ得ルト思フ、隨テ乳價モ色々アツテ然ルベキダト思ヒマス、唯現在全國デサウ云フコト

ガ現ハレテ居ルノデアリマシテ、或ル地域的ニ、工場ナリ何ナリカラ、其ノ附近ニ供給サレル場合ニ、サウ云フ狀態ガ生レテ來ルモノダト思ヒマス、其ノ結果ガ斯ウ云フ風ニ現ハレテ參ツタ、或ハ材料ノ採リ方ニ付テハ、先程河野サンノ仰シヤルコトガ妥當デアルカモ知レマセヌガ、サウ云フヤウナ現象ガ現ハレテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ付テハ、今私ガ申上ゲタヤウニ、更ニ研究ヲシナケレバナラスコトデアルト私共考ヘテ居リマス、ソレカラ乳ノ割當、乳ノ利用ノ狀態ニ付キマシテハ、大體色々資料ヲ準備致シマシテ、從來ノ取引慣行、其ノ他ヲ見テ、ヤハリ市乳ニ付テハドノ位ト、劃然ト明ニスルヤウニ將來ハ導イテ行カナケレバナラスデハナイカト考ヘマス、隨テソコデサウ云フ地域、サウ云フ性質ノモノニ付テ、或ハ差ヲ生ズルコトガ出來テ來ルノデハナイカト考ヘテ居リマス、何レニ致シマシテモ之ニ付テハ更ニ研究スル必要ガアルト思フノデアリマス、御示シノ點ハ十分ニ考ヘテ行キタイト思ヒマス

○北委員 私ハマダ論ジタイ點ガアリマシタ、關聯事項デスカラ遠慮シテ是デ止メテ置キマス

○河野委員 モウ時間デスカラ、資料ノ要

求ヲ一ツヤラシテ戴キマス、最近ノ家畜ノ飼料、麴ヲ初メ、大豆粕、是等ニ付テノ相場、月別デ結構デスカラ其ノ相場表、竝ニ特ニ麴ノ上海、天津、大連、是等ノ市場ニ於ケル價格表、更ニ是等ヲ我國ニ輸入致シマシタ數量ニ對スル調査、ソレカラ乳牛ノ最近ノ數ガドウナツテ居ルカ、増加率ガドウナツテ居ルカ、是ハ府縣別ニ一ツ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ先程申上ゲマシタル牛ノ處理團體、販賣團體ノ調、ソレカラ森永デアルトカ明治デアルトカ云フ全國ノ製造業者ノ側カラ見マシタ乳ヲ集荷スル地方、ドノ會社ガドノ方面カラドウ云フヤウニ取ツテ居ルカ、是ハ小サナ會社ハ要リマセヌ、此ノ製酪組合ノ組合員トナツテ活動スル程度ノモノデ結構デアリマス、「バター」「チーズ」ノ製造量、之ヲ製造シテ居リマス會社、斯ウ云フヤウナ調査ヲ一ツ頂戴致シマシテ、月曜日ノ委員會ノ質問ヲ致シマスマデニ、出來ルダケ御取揃ヘヲ願ヒタイト思ヒマス、特ニ月曜ニハ飼料關係ニ付テ御尋シタイト思ヒマスカラ、其ノ積リデ一ツ……

○池田委員長代理 速記ノ關係ガアリマスノデ、本日ハ是デ散會致シタイト思ヒマス、次會ハ月曜午前十時カラ始メマス
午後零時十分散會

昭和十四年三月四日印刷

昭和十四年三月五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局